

おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

—はじめましょ！—

NO. 95



片付けたいとずっと思っているのですが、“こんなふうになりたい”というイメージはあるものの、なかなかそこまでたどり着きません。そこに日々のことが、待たなしで積み重なってきて、思いとは裏腹に現状は膨らんでいます。なぜ動き出せないのでしょうか？「やらないあなたが悪い」と言われても、ただ凹むだけで元気も出ませんが、きっと、たぶん、やろうとしていることと、今できることにギャップがあるんです。

子どもを目の前にして、“これができるようになってほしい”“ことばが育ってほしい”“お友達と仲良く遊んでほしい”といった願いがたくさんあると思います。子ども達は必ず成長していきませんが、成長したらしたで、また新たな“こうなってほしい”が出てきます。当たり前です。子どもは誰でも発展途上で可能性を秘めています。期待して当然です。でも、無理を強いられても子どもは困りますよね。気持ちよく背伸びをして、次をつかんでもらうために、大人は何をすればよいかあんずで一緒に考えて、楽しみながら実践していきましょう！

まず大切なことがあります。今できないことは、機会がなかったからできないのか、やらせても楽しめないだろうと思って、自然とやらせてこなかったのか、どちらでしょう？

『経験不足』って嫌な言葉ですね。経験させてこなかったことが悪かったように聞こえて、どこか後ろめたくなります。でも、そうできなかった事実があるはず。人と場所と時間（手間）が確保できなかったこともあるでしょう。子どもが楽しめる姿ではなかったのでしょうか。それはそれでOKです。これから、作戦を練って少しずつ進めていきましょう。

作戦①：まだ上手くできないかも、わからないかもしれないけれど、少し体験してみましょ。大事なことは、サポートしてくれる人がいて、ダメだったら回避できるようにして、大人が手伝ってでも、必ず楽しく終わるようにすることです。子どもが懲りてしまわないように。そして、上手くいったところ、いかなかったところを振り返り、次の働きかけに活かしましょう。まだ気が進まないことは無理にしなくてもいいと思います。大人も懲りてしまうと、とても疲れますからねえ。

作戦②：やろうとしていることには、すべてその前の段階があります。人の育ちは、一つひとつの階段を昇ってきた結果です。そして誰もがその階段を昇っていくのです。やろうとしていること、やってほしいことの前の段階は？ そのもうひとつ前の段階は？そこを見定めて、まずはやってみましょ。少しやさしくなるので取り組みやすいと思います。やらされる感が少なくなりますね。自分でできることは楽しめます。楽しめることは繰り返します。繰り返せば少しずつ上手になっていきます。少し余裕が持てると、自分でアレンジし始めます。自分からの一歩ですから確実です。なので、家での遊びは、今楽しめていることを“とことん”することでOKです。

チャレンジするポイントは、“無理なく楽しむ体験”と“前の段階を繰り返す積み重ね”です。子どもも大人も、楽しみながら、見通しを持ちながら、繰り返していけるといいなと思います。



一人で、家族で抱えないで、誰かに水先案内を頼むことをお勧めします。視野とメニューが広がります。あんずも大いに活用してくださいね。私の片付けの水先案内…Help！（R6. 4）K